

マルシェでつながる 越谷の#イイカンジ

いい感じ!



神社deままマルシェ
代表 増田さん



TEAM コアキナイ
新井さん

マルシェという共通の
話題で友達が増えた



神社deままマルシェ
妹尾さん



てしごとめるカーと「こっこつ」
渡邊さん

越谷人は祭りが好き。
だからマルシェが
多いのかも

お客さんに喜んでもら
えると、苦労したかいが
あったなと思える



エスティクラブ
高橋さん

マルシェに関わったきっかけ

渡邊(てしごとめるカーと「こっこつ」)：袋山の「おやつ工房ひびのや」で原材料にもこだわったパンを製造・販売しています。ふだんは自宅を改装した店舗で販売しているんですけど、ほかでも販売したいなあって。マルシェでは、「こども店長」や「オトナ女子癒しの日」などの企画も好評です。地域の幼稚園や自治会館でも開催しているんですよ。

新井(TEAMコアキナイ)：まちづくり越谷が主催する創業支援講座の「コアキナイ塾」がきっかけです。「越ヶ谷宿の甕めぐり」で「まちあそびマルシェ」に出店してみたら、やめられなくなりました。私たちのマルシェは、ライブステージが特徴で、地域にゆかりのあるアーティストさんに活躍してもらっています。運営スタッフの個性はバラバラ。でも、それが楽しいんですよね。

鈴木(プチ☆マルシェ)：私が初めて出店した思い入れのあるマルシェを引き継ぎました。当時、マルシェを運営していた人が事情があってやめることになって…、このままこのマルシェがなくなってしまうのが嫌だったんです。どうしても続けてほしくて、運営のお手伝いから始めました。それがきっかけですかね。

高橋(エスティクラブ)：私は、地域で起業した店舗や町の飲食店があまり知られていないのが残念だなと感じていて。もっと多くの人に知ってほしいと思ったのがマルシェを始めたきっかけです。ハロウィンやクリスマスなどのイベントに合わせてマルシェを開催しています。売り上げはあまり気にせず、みんなで盛り上げて楽しむことを大切にしています。

マルシェに魅せられた人

「知り合える場所を作っているんじゃないかな」

本郷(草加越谷ママカフェ部)：札幌に住んでいた時期がありました。札幌には、子どもと一緒に参加できるイベントやマルシェがたくさんあったんですよ。越谷でもそんな場所があったらなと思いました。当時は探してもなかなかなくて、それなら自分で作るのが手っとり早いかなと。今は新しいマルシェがたくさんあるので、主催にこだわらず、運営をサポートする立場で楽しくやっています。

マルシェってどんな場所？

妹尾(神社deままマルシェ)：やりたいことが実現できる場所がマルシェ。運営スタッフの皆さんや出店者の皆さんとのコミュニケーションで元気をもらえるし、自分がやりたいことの輪郭もはっきりしてきます。今は起業したキャンプ場の経営で忙しいんですが、マルシェで出会った人たちのおかげで、夢の実現に近づけています。

増田(神社deままマルシェ)：「知り合える場所」を作っているんじゃないかな。私たちのマルシェは、主催する実行委員のメンバーが入れ替わるのが特徴なんです。マルシェに遊びに来た人どうしはもちろん、そういった人たちが出店してみたり、運営ボランティアに参加してみたりと、このマルシェがなかったら知り合っていなかった人たちが、さまざまな形でつながっています。マルシェでの人と人とのつながり

とちほん(入園入学マルシェ)：子どもが生まれた時期がコロナ禍と重なって、外出も制限されて家族以外に話し相手もいませんで

たちのCROSS×TALK

した。社会とのつながりを求めて自分のハンドメイド作品をネット上のフリーマーケットで販売していた時期もあります。マルシェをきっかけに人とのつながりができて、楽しいです。

大里(TEAMコアキナイ)：マルシェの出店を通じて、初めて知ったハンドメイド作家さんや飲食店さんなどもたくさんあります。そういった地域のお店にも気軽に行きやすくなりました。顔見知りが増えたと、暮らしが楽になりました。顔見知りが増えたと、暮らしが楽になりました。顔見知りが増えたと、暮らしが楽になりました。

Maeri(越谷きらりマルシェ)：マルシェの運営をしていると、自分が何をやりたいのか迷っている人にも出会います。そういう人にもほかの出店者さんたちや私たち運営側のスタッフと話す中で、やりたいことを見つけて、挑戦していく、そんなケースもよくあります。マルシェをきっかけに、人と人との関わりが生まれ、本人がびっくりするほどの変化が起きていくことも結構あるんですよ。

渡邊：起業して店舗を持つことでいろいろなことが広がりました。自分が一歩踏み出して動くことで周りも変わります。私はこれまで、自分一人で決めて行動することが多かった気がします。マルシェを始めていろいろな人と関わることで、刺激を受けています。マルシェで今後実現したいこと、挑戦したいこと

河野(神社deままマルシェ)：私は子育て中につらい気持ちになることもありました。そんな時、マルシェに関わって、いろいろな人

に出会って救われたんです。だから今度は、私が何か困っている人の役に立ちたいって考えるようになりました。この前、知人に相談して福祉推進員の講座を受けたんです。子育てを終えた高齢世代の方も巻き込んだ子育て支援の場所を作るのが目標です。

大里：自分が本当にやりたいことを考えて、「ほっと越谷」の創業支援講座に参加しました。その時の経験や仲間がマルシェの運営につながっています。これから自分がやりたいことに挑戦したいと考えている人に向けて「初めてのマルシェ講座」みたいなものを開催して、次に続く人たちに伝えたいですね。

とちほん：これまで、マルシェの運営を手伝うことが多かったんですが、私が中心になって、入園入学グッズを集めた「入園入学マルシェ」を新しく開催することになりました。初めての主催なので、頑張りたいです。

高橋：越谷市では、たくさんマルシェが開催されています。それらのマルシェが集まる大きなイベントを開催したいですね。市内のさまざまなマルシェが勢ぞろいして交流することは、すごく意味があると思うんです。

増田：マルシェを運営していく中で、仲間が増えて挑戦できることがどんどん増えていきました。これからは、いろいろな人たちが団体にもマルシェの運営を任せてみたい。任せることで新しいものが生まれていくことを期待しています。マルシェを立ち上げることも大切だけど、マルシェを引き継いでいくことはもっと大切だし大変。マルシェを次につないでいく新しい挑戦をしていきたいですね。

CROSS×TALKの全文は、
市プロモーションサイト内「声」に
掲載します



草加越谷ママカフェ部
本郷さん



越谷きらりマルシェ
Maeriさん



TEAM コアキナイ
大里さん

それぞれに訴えが
あって、それぞれの
マルシェになってる



プチ☆マルシェ
鈴木さん



入園入学マルシェ
とちほんさん



神社deままマルシェ
河野さん

出店者と来場者の
間に会話が生まれ
るのがいい

越谷はマルシェの宝庫！

市内では、日々さまざまなマルシェが開催されています。座談会に参加していただいた皆さんの運営するマルシェをご紹介します。出店者や最新情報など、気になるものは各団体の二次元コードからSNSをチェック！

ママと子どもの癒しの空間 / 神社deままマルシェ

次回開催：2月21日(金)10:00～14:00
＊毎月第3金曜日開催
会場：香取神社(大沢3-13-38)
☎Instagram@mamafeskatori



音楽 × マルシェで楽しもう / まちあそびマルシェ

次回開催：3月2日(日)10:00～15:00
会場：越ヶ谷小学校庭(中町1-41)
☎TEAMコアキナイ
(Instagram@koakinai.marche)



子どもの夢を応援！ お仕事体験で楽しくお金を稼ごう！ / Koshigayaゆめパークマルシェ

次回開催：1月19日(日)10:00～15:00
会場：M2 SPORTS FIELD(大竹595-1。
大袋駅西口から徒歩15分)
☎ゆめずかんIchiba
(Instagram@yumezukan.ichiba)



持続的な地域活性化を目指して / 大袋ファミリーフェスティバル

次回開催：6月1日(日)10:00～15:00
会場：大袋幼稚園ホール、ホール
前広場(大竹822)
☎Instagram@famifes2024



たのしいをみつけにきてね / てしごとめるカーと「こっこつ」 ～こども店長大活躍！～

次回開催：1月5日(日)10:00～15:00
会場：袋山連合自治会館(袋山341)
☎おやつ工房ひびのや
(Instagram@hibinoya2017)



頑張る自分へのごほうびに / プチ☆マルシェ～☆はぴらきすまいる☆～

次回開催：1月17日(金)11:00～16:00
会場：ギャラリーヌー
(蒲生西町2-1-29)
☎Instagram@petite_marche_koshigaya



入園入学グッズをそろえよう / 入園入学マルシェ

次回開催：2月9日(日)10:00～15:00
会場：ギャラバ(大沢2-4-31)
☎Instagram@nyuen.nyugaku.koshigaya



子どもからお年寄りまで楽しく遊ぼう / むかしあそびマルシェ

次回開催：3月22日(日)10:00～15:00
会場：ふれあい広場(越ヶ谷2-4-28)
☎エスティクラブ(Instagram@st_club.4)



ハンドメイド素材をお安くゲット！ / 新春！ 素材お宝市

次回開催：1月17日(金)11:00～16:00
会場：ギャラバ(大沢2-4-31)
☎Instagram@sozai.otakaraichi



2024年度地域再生大賞に ノミネート！ 神社deままマルシェ

毎月第3金曜日に市内大沢の香取神社で開催される「神社deままマルシェ」。育児中の母親が楽しめる美容・健康、雑貨、飲食など、約30のブースが立ち並びます。専門家による育児相談や「神社de気軽に子育てサロン」も人気です。

また子どもも主催する実行委員会の増田貝子さんは、自身も子育て真っ最中。出産後、子育てが始まると自分の時間がなかなか持てず、相談できる人もいなかったため孤独を感じたそうです。「子育て中に親子で気軽に遊びに行ける場所」、「子育て中にほっと息抜きできる空間」を目指して2019年に立ち上げたマルシェは、この12月で継続開催53回を数え、これまでの来場は約1万7,000人以上。市内では、「神社deままマルシェ」や増田さんをロールモデルとした新たなマルシェもたくさん生まれました。

これまでの地域活性化やまちづくりの取り組みが全国の地方新聞やNHK、(一社)共同通信社が主催する地域再生大賞にノミネートされています。

体験レポート



移動式の
子ども食堂



ピーズを選んで
オーナメント作り

ママだけではなくパパや妊娠中の方
も楽しんでいる、誰もが心地よく過ご
せるすてきなマルシェでした！